



等身大の尾びれなどを配した環境教育展示

任意団体 Orca.org さかまた組

# 釧路のシャチとザトウクジラを シンボルとした海洋生態系 保全のためのパッケージ活動

一般助成  
2年目  
調査研究

展示、市民ツアー、調査、  
研修など全活動への  
参加人数 **1,200人**

活動に関するメディア  
への登場回数 **17回**

活動の全体目標に  
対する達成度 **70%**

## 課題

- 釧路沖海洋生態系の実態と温暖化の影響を把握
- 地域住民の身近な海に関する情報不足の解決、特に希少動物シャチの存在の認知度をあげる
- これらで生態系保全の基盤を作る

## 活動内容

- ① 研究者や学生との連携で釧路沖海洋生物調査(シャチをはじめとする鯨類および海鳥)を実施し、漁業者・行政などと情報交換
- ② 地域住民や観光客、教育者などへ海や海洋生物に対する科学的興味関心や保全意識が芽生えるよう働きかけ、保全活動に参画しようとする機運を生む
- ③ 小笠原、沖縄、ロシア、アメリカの鯨類調査関係者らと情報交換
- ④ 地域行政などと連携し、市民及び観光客対象の調査サポート型エコツアーの試験的实施



釧路を背景にザトウクジラと遭遇し興奮する市民

## 今後の課題

- 釧路海域の貴重さに対する認知度が地域内外で固定化しつつあり、さらなる情報発信が必要
- 調査で地域における気候変動の影響把握と発信
- 釧路沖生態系保全のために主体的に考え行動する個人や団体との協働体制強化

## 成果と工夫したポイント



### 成果

本年度の釧路を舞台とした環境教育・保全活動は、市民ツアー、展示、レクチャー、行政や学生による研修などを通して1,200人以上の参加を得ることができ、地域内外の興味関心の高まりを感じられるようになった。

### 工夫

シャチとザトウクジラという鯨類界の2大スターをアイコンに、SNSやメディアで積極的に情報を発信した。